

今月のNEWS

コロナ禍における社会福祉協議会の事業について

新型コロナウイルスが蔓延して1年が経過しました。緊急事態宣言が1月に再度発令され、地域のイベントやサロン活動など、なかなか再開することができない状況が続いております。葉山町社会福祉協議会においても中学・高校生を対象とした夏休み福祉活動体験学習や福祉まつり、各種講座や学習会なども中止となり、会議も書面やオンライン会議に変わるなど、様変わりした1年間でした。

そのような状況の中で、オンライン体験を目的としたZOOMで繋がる講座の開催や、個別のスマホやパソコン等の使い方の練習を目的とした、葉山じょうほうカフェの開催、地域活動の参加促進や外出支援のための車両の貸出事業、日常生活が困窮した方に食材等をお届けするプロジェクトを実施しました。

来年度も引き続き、コロナ禍においても、地域の活動等を支援し、葉山町の皆さまに寄り添える事業を実施していきたいと思っております。

令和2年度に新しく始めた事業：

はやま住民福祉センターだより・葉山じょうほうカフェ・外出支援用車両貸出事業・コロナ禍生活食材応援プロジェクト

🗨️ コロナ禍生活食材応援プロジェクト 経過報告

**フードドライブ事業(食品寄付運動)展開しています！**

令和2年9月より、新型コロナウイルスの影響により食べ物に困っている人や日常生活が窮迫した人に、食材等を月1回、合計3回まで無料でお届けをする「コロナ禍生活食材応援プロジェクト」を立ち上げました。この事業を開始した当初は、お米や保存食などの寄付品を中心に募集しましたが、困っている方々のお話を聞くと、「トイレトーパーやティッシュペーパーなどの雑貨」や「肉や野菜等の食材が欲しい。」などの声をいただきました。そこで、企業や店舗などからも寄付金を募り、これまでに約75万円の暖かい寄付金と約35万円相当の食材等をいただきました。

現在の活動は、希望される方のお宅に伺う前に電話を掛けて、葉山町内で調達できる食料や雑貨など、必要な物を購入し、寄付でいただいたものと合わせて希望者に寄り添いながらお届けする形を作っています。閉店となったセブンイレブンの商品や逗子市にある食パン専門店(下記参照)のご協力をいただき、おいしい食パンもお届けしています。

また緊急事態宣言が再度発令され、延長されている現在、お困りの状態が継続される方には4回目以降の支援も行っていきます。困った時はお互い様です。もし、新型コロナウイルスの影響により、日常生活にお困りでしたら、社会福祉協議会にご連絡ください。また寄付金品等の受付もしておりますので、引き続きよろしくお願い致します。

(令和3年2月26日現在の実績)

食材等のお届け件数:26件 合計125回 (世帯数や生活状況により1回4,000円~10,000円相当の食材等をお届け)  
 寄付金合計: 753,000円 寄付品等:94件 食パン、お米、缶詰、乾麺、調味料、雑貨、インスタント食品等  
 寄付金支出額:560,729円

☰ 食パンで笑顔に -高匠さん-

逗子駅前の銀座通りにある、食パン専門店「高匠」さんに、コロナ禍生活食材応援プロジェクトにご協力をいただき、これまで約120斤の湯種食パンを無償で提供していただいております。お届けした方から、「元気がでた!」「あんな美味しい食パンは食べたことがない!」「すごい重たい!」など、笑顔が溢れます。

高匠さん、いつも本当にありがとうございます！



👤 今月のスタッフひとこと



はやま住民福祉センターで在宅援護の担当としております竹島です。葉山町の委託事業である介護用品支給や、車いすの貸出、みまもりあんしん袋の支給等を通して皆さまと繋がり、少しでも日常生活のお役に立つことができるよう日々努めております。

コロナ禍の中、不安に過ごされている方がいらっしやると思っています。はやま住民福祉センターへご連絡ください。職員一同お待ちしております。これからも、地域の皆さまのお役に立てるように頑張っております。